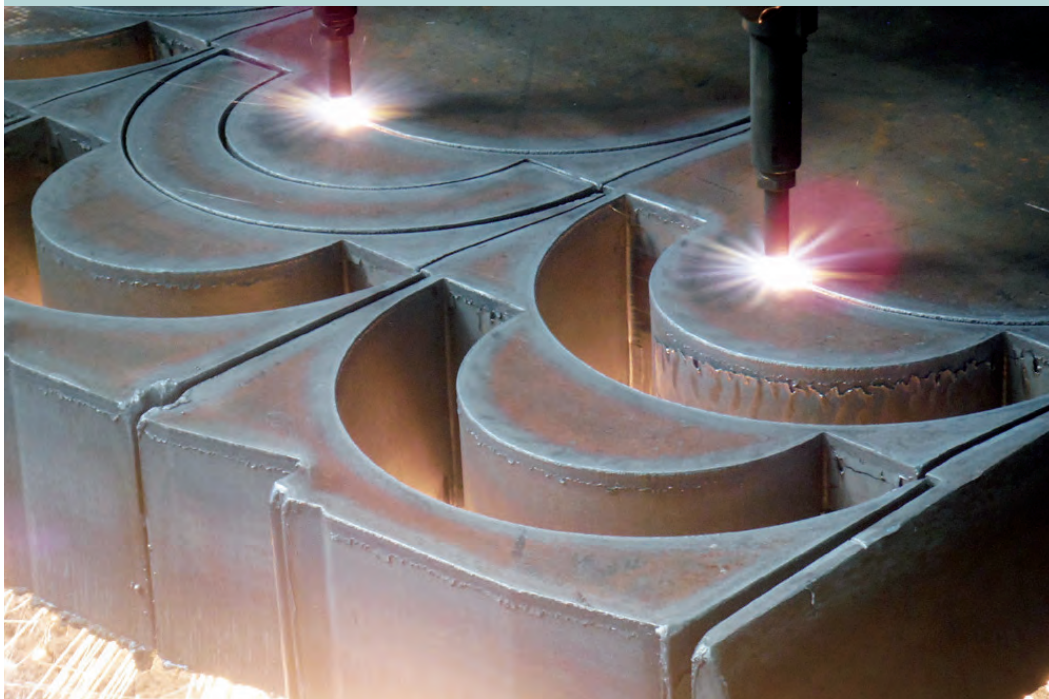


株式会社 荻下鋸断

精密鋸断加工のパイオニア 基幹産業支える技磨く

納期相談
コスト相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



自動生産設備による精密鋸断加工

業務内容 800社超の顧客要望に 独自技術で柔軟に対応

ガスの炎によって金属を融点以上に加熱、切断する鋸断。同社は戦前から鋸断加工を手がけるパイオニア企業として造船や建設機械、工作機械などの部品製作を通じ、長く日本の基幹産業を支えてきた。

鍛造材など、厚さ1mの金属板を鋸断できる技術を有している事業者は、国内でも数えるほどしかないという。取引企業は800社以上にのぼり、小ロット生産から量産品まで柔軟に対応するほか、普通鋼、特殊鋼など1万8,000t以上の在庫を常時取り揃え、素材の安定確保やスピーディーな納品ができる体制も整えている。

強み 高い精度を実践で継承

厚さ100mmまでの鋼材であれば±0.5mm以内の寸法公差で鋸断できる高い技術力を有している。これにより製品ごとの品質のばらつきがなくなり、顧客にとっては納品後に製品表面の研磨など仕上げ工程を省くことができる利点があるため好評を得ている。CNC（コンピュータ数値制御）の最新設備も備えるが、カギを握るのは長年培ってきた加工技術だ。工場長経験者など定年を迎えた熟練職人が指導役となり、若手への技能伝承を進めている。荻下千代美社長は「作業をすべて機械やIT技術に置き換えることは難しい。製造現場で実践しながら技術を継いでいく」と話す。

厚生 福利

保育室開設や弁当販売で 働きやすい職場づくり

近年、定年退職者が増える一方で新卒や中途採用に力を入れているため、従業員の

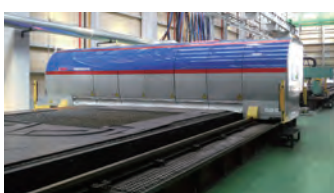
平均年齢は35歳と若返りが進んでいる。それゆえに「管理職を担える人材が不足している」という悩みもある。

そのなかで荻下社長は、女性経営者ならではの視点を生かし、働きやすい職場環境の整備にも取り組む。平成30年4月には本社近くに研修棟と宿泊棟を建設。子育て世代が安心して働けるよう宿泊棟内には保育室「ココモ」を開設した。昼食時には「おいしく栄養バランスの取れた食事」を宿泊棟の厨房で調理しており、好評を得ているという。

今後の展望 グループ会社通じ 海外への売り込みを

平成30年6月には本社隣接地に第3工場が完成し、微細加工が可能となるファイバーレーザー切断機を導入した。さらに新たな工場建設の計画もあるという。荻下社長は「鋸断以外の加工工程の内製化を進め、顧客が求める最終形の製品に近いものを短納期で供給できる、利便性の高い工場を作りたい」と意欲的だ。

また、同29年3月には薄板販売で東南アジア市場の貿易に強い葵産業（株）（大阪市中央区）をグループ会社を迎え入れた。今後は「鋸断加工技術を海外に売り込んでいく窓口になってもらえれば」と、新たな市場にも期待している。



ファイバーレーザー切断機



社内保育室「ココモ」

当社の歴史



祖父の荻下茂は、旧海軍時代に見本市で海外製の鋸断機を見かけ、昭和11年に実機を購入して事業を始めました。創業期から精度の高さを追求し、ガスの炎が出るノズルや設備の改良を繰り返してきました。その精神を受け継ぎ、さらなる技術開発や市場開拓を目指します。

代表取締役社長 荻下 千代美さん

<http://www.komoshita.co.jp/>

主な事業内容
金属製品の精密鋸断加工

主な取引先(納入先)
三井E&S造船（株）、
（株）椿本チエイン、
住友重機械工業（株）

●住所 〒597-0095
貝塚市港14-2
●TEL 072-432-0301
●FAX 072-431-9200
●創業 昭和11年6月
●設立 昭和27年4月
●資本金 2億160万円
●従業員 176名